

《担当者名》教授 / 中山 英二 教授 / 齋藤 隆史 教授 / 永易 裕樹 教授 / 飯嶋 雅弘  
 教授 / 古市 保志 教授 / 齊藤 正人 教授 / 越野 寿 教授 / 越智 守生  
 教授 / 長澤 敏行 教授 / 村田 勝 教授 / 奥村 一彦 教授 / 伊藤 修一  
 准教授 / 廣瀬 弥奈 准教授 / 廣瀬 由紀人 准教授 / 豊下 祥史  
 講師 / 佐野 友昭 講師 / 泉川 昌宣 講師 / 松田 康裕 講師 / 加藤 幸紀  
 講師 / 倉重 圭史 助教 / 福田 敦史 講師 / 仲西 康裕  
 非常勤講師 / 八田 政浩

【概要】

3年次から臨床基礎科目に加え臨床科目の学習が始まり、一步、歯科医師に近づいたこととなる。そこで、臨床科目の学習を始めるにあたり、歯科診療の基礎について学び、臨床基礎科目の重要性を踏まえながら、歯科診療を実施するうえで基礎となる事柄について、幅広く知識を身に付けるとともに、基本的な手技を学習する。

【学修目標】

- 適切な手洗いについて説明する。
- 適切なグローブの装着について説明する。
- 頭頸部の触診について説明する
- バイタルサインの測定について説明する。
- 基本的な救急蘇生について説明する。
- 浸潤麻酔の基本を説明する。
- エックス線フィルムの整理について説明する。
- 歯の切削の基本を説明する。
- 正常咬合と不正咬合を説明する。
- 各種口腔清掃法を説明する。
- フッ化物による齲蝕予防について説明する。
- 下顎位と下顎運動を説明する。
- 咬合器の基本構造と取扱いを説明する。
- 訪問歯科診療の基本的事項を説明する
- 多職種連携の基本を説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	「歯科診療の基礎」講義の目的と概略 診療時の手洗いはなぜ必要か	「歯科診療の基礎」講義の目的と概略の説明 清潔域、不潔域の区別、手洗い時に使用する薬剤、手洗いの方法及びその効果について学ぶ。	永易 裕樹 村田 勝 奥村 一彦
3 ) 4	診療時のグローブ装着の意義	グローブ装着が必要な場合、その理由及び装着法について学ぶ。	永易 裕樹 村田 勝 奥村 一彦
5 ) 6	頭頸部の診察	顎口腔領域疾患の診査（口腔、頭頸部）法について学ぶ。	永易 裕樹 村田 勝 奥村 一彦
7 ) 8	バイタルサインとはなにか 救急蘇生とはなにか	バイタルサイン測定の意義及び測定法を学ぶ。 救急蘇生法の意義及び実施法を学ぶ。	金澤 香 大桶 華子
9 ) 10	歯科診療に伴う痛みの局所的コントロール	歯科診療で最も多く用いられる浸潤麻酔法の基本と術式を学ぶ。	大桶 華子
11 ) 12	エックス線フィルムの基本	エックス線フィルムの取扱い法及び整理法について学ぶ。	中山 英二 佐野 友昭
13	どういうときに、どうやって歯を切	歯の切削に用いる機器の取り扱いの基本を学ぶ。	齋藤 隆史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	削するのか		伊藤 修一 泉川 昌宣 松田 康裕
15 16	正常咬合と不正咬合診かた	正常咬合の条件を学ぶ。 咬合に関する用語を学ぶ。 不正咬合の種類を学ぶ。 Angleの不正咬合の分類を学ぶ。	飯嶋 雅弘 六車 武史
17 18	プラークコントロールとは	プラークコントロールの目的を理解する。 プラークコントロールの方法を理解する。 B-3-2)-	古市 保志 長澤 敏行 加藤 幸紀
19 20	フッ化物による齲蝕予防	フッ化物歯面塗布・フッ化物洗口・フッ化物配合 歯磨剤の応用方法を説明できる。 B)-3-2)-	齊藤 正人 廣瀬 弥奈 倉重 圭史 福田 敦史
21 22	下顎位と下顎運動 1	正常有歯顎者の下顎位、下顎運動を 3 次元的に理 解する。 下顎運動の分析に必要な基準点・基準平面を理解 する。	越野 寿 豊下 祥史 越智 守生 廣瀬 由紀人 仲西 康裕
23 24	下顎位と下顎運動 2 各種咬合器の構造と使用法	種々の咬合器の構造と使用法を学ぶ。	越野 寿 豊下 祥史 越智 守生 廣瀬 由紀人 仲西 康裕
25 26	フェイスボウトランスファーと半調 節性咬合器の調節	半調節性咬合器を用いたフェイスボウトランスフ ァーについて学ぶ。 チェックバイトを用いた半調節性咬合器の顎路調 節について学ぶ	越野 寿 豊下 祥史 越 守生 広瀬 由紀人 仲西 康裕
27 28	訪問歯科診療とは何か	訪問診療で必要となる基本知識を学ぶ。	越野 寿
29 30	多職種連携の医療とは何か	地域医療で求められる多職種連携について学ぶ。	八田 政浩

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験（100％）

#### 【教科書】

その都度プリントを配付する。

#### 【学修の準備】

予習として、講義内容をまとめる。（80分）

復習として、配付資料に目を通し、問題点を確認する。（80分）

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および  
歯科保健と歯科医療の技術を修得している（専門的実践能力）。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能

力を身につけている（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につけている（自己研鑽力）。

DP4. 多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる（多職種が連携するチーム医療）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけている（社会的貢献）。